



大学院だより



修了式を終え充実感で一杯の大学院修了者。矢崎秀昭同窓会長および大学院関係者と共に。

大学院修了式

平成28年3月15日に第6回大学院修了式が、121期生卒業証書授与式に先立ち行われた。快晴の清々しい良き日に、堂々とした大学院生の姿は、学生やご父兄にとって印象深いものとなったことでしょう。修了式では代表として歯周病学講座の鈴木瑛一大学院生に、田崎雅和大学院研究科長から修了証が授与された。その後、新館11階教室に移動し、一人ひとりに修了証が授与され、矢崎秀昭同窓会長から、同窓会長賞が授与された。



東 俊文教務部長の呼名により入場



代表で修了証を授与される鈴木瑛一大学院生



田崎大学院研究科長より修了証を授与される
二宮 文大学院生



矢崎同窓会長より同窓会長賞を授与される
鈴木瑛一大学院生



矢崎同窓会長より同窓会長賞を授与される
武内崇博大学院生



田崎大学院研究科長より最後の訓示

大学院修了にあたって

大学院4年（歯周病学講座）
鈴木瑛一

おそらく最後の学生生活であろう大学院での日々は、長くもあり短くもあり充実した4年間となりました。入学前は研究がどんなものであるか想像できませんでした。大学院入学後、多くの研究に関わる機会をいただき、今の医療が過去の様々な研究によって支えられていることを知りました。

私は生化学講座との共同研究で、骨分化におけるシグナル伝達経路の解明を目指して参りました。実験について右も左も分からない自分に一から教えていただいた生化学講座の先生方には、心より感謝しております。研究を行うに当たって齋藤教授より、自分の研究内容では少なくとも日本で一番でなくてはならないとの言葉をいただきました。

不案内な分野の勉強、研究に没頭する日々でしたが、新しい知識を得ることはとても新鮮で、刺激的でした。また、2度の海外学会を含む多くの学会に参加・発表させていただきました。様々な分野の研究者とディスカッションすることができ、学外の方たちの研究に対する熱意を肌で感じる事ができました。幸いにも3年次に研究成果を学位論文としてPLOS ONEへ投稿することができ、受理されました。さらに、齋藤教授、東教授をはじめとする多くの先生方の熱心なご指導により同窓会長賞をいただくことができましたことは大変光栄に思います。

大学院在籍中は休日もほとんどなく忙しい生活でしたが、不思議と辛くはなく4年間過ごすこと

ができました。これは多くの指導やアドバイスを
していただいた先輩方、休日もいやな顔一つせず
実験を手伝ってくれた後輩、頼りがいのある同期、
そして家族に支えてもらったからこそであり、多
くの方々に恵まれて学生生活を送れたことを実感
しております。研究をスムーズに行えるよう環境
を整えてくださった口腔科学研究センター、動物
舎、ならびに大学院事務局の方々にも RA、学生
会などを通して、大変お世話になりました。

現在は遺伝子改変マウス由来の iPS 細胞を使用
した新しい研究プロジェクトに参加させていただ
き、日々先輩方とディスカッションしながら試行
錯誤しております。研究費として日本歯周病学会
から、シーズ育成若手奨励研究助成をいただい
ておりますので、しっかり取り組んで成果につなげ
たいと思います。

大学院高学年になってからは、自分の得た知識
や技術をできるだけ後輩に伝えるようにしており
ます。研究においても東京歯科大学が世界のリー
ダーとなるよう、学んだことを後輩に伝え、大学
一丸となって努力することが大切だと感じました。

学生生活は終わりますが、歯科医師としてはま
だまだ未熟であり、今後は研究者としても臨床家
としても今まで以上に努力を惜しまず、歯学界の
リーダーとなれる様、精進していこうと思います。

最後になりましたが、これまで御指導してく
ださいました井出学長、田崎研究科長をはじめ
とする先生方、職員の皆様に対し、心から厚く
御礼申し上げます。



同窓会長賞を受賞した鈴木瑛一先生と武内崇博先生

大学院修了を迎えて

大学院4年（歯周病学講座）

武内 崇博

ネズミの大群に襲われる夢をみたときはいよいよ
限界なのかと思いましたが、そんな思い出も今
は笑い話。長いようで怒濤に過ぎ去っていった4
年間が終わり、博士課程の修了を迎えることがで
きました。研究とは何か、あるいは大学院は何を
する場所なのかも分からず大学院の門を叩きまし
た。そんな私が様々な方々のご指導のもと無事博
士課程を修了し、ここまで来ることができたこと
を誇りに思います。大学院生活は非常に充実して
おり、海外研修や国内外での学会発表など様々な
活動の場を与えて頂きました。Elective Studyに参
加した際には、カナダにて10日間に渡り歯科以外
の分野のラボ見学や企業訪問など貴重な体験をさ
せていただきました。大学院の支援のもと、ロン
ドンで開催されたEuroPerio8 に参加し、e-posterと
いう新しい形式での発表を行い、レセプションパ
ーティーでは世界各国のパリオドンティストと親
睦を深めるなど刺激的な日々を送ることができま
した。

私は歯周病学講座で脈々と続いている病理組織
系の動物実験プロジェクトに参加しました。在学
中に水道橋移転もあり、機材の配置や動物舎の仕
様が様変わりするなど苦労することも多々ありま
したが、齋藤教授はじめ、ご指導して下さった先
生方の叱咤激励もあり、研究成果は、最初から目
標としていたJournal of Clinical Periodontology に受
理されました。そのような活動を評価していただ
き、大変名誉な同窓会長賞まで受賞することがで
きました。母は学生生活の最後に有終の美を飾れ
たことを泣いて喜んでいました。現在は学位論文
の内容をさらに発展させた研究課題に取り組んで
います。

大学は研究・臨床・教育が求められます。私は
まだまだどれをとっても未熟で、やっとスタート
ラインに立ったばかりです。東京歯科大学のみな
らず、歯科界を引っ張ることができる存在になる
べく自分が何をすべきか考え、この4年間で学んだ
ことを反芻して更に邁進してまいります。

最後になりますが、これまで多くのご指導をい
ただきました齋藤教授をはじめ、貴重なご意見を
いただきました先生方、口腔科学研究センターや
実験動物施設の職員の皆様など多くの方々に心か
ら厚く御礼申し上げます。

大学院修了式 懇親会開催



お世話になった先生方と

懇親会を振り返って

大学院4年（口腔インプラント学講座）
岩井千弥

平成28年3月15日（火）午後1時より、水道橋校舎本館14階大会議室において、大学院歯学研究科の懇親会が開催されました。感謝の気持ちを込めて、ご指導頂いた恩師をお招きし、和やかな雰囲気の中執り行われました。

大学院学生会の岩井千弥副会長が司会を務め、まずは全体集合写真の撮影から始まり、井出吉信学長のご挨拶で開会となりました。続いて矢崎秀昭同窓会長からご挨拶を頂戴した後、田崎雅和大学院研究科長、東俊文 大学院教務部長からご挨拶、齋藤淳 大学院学生部長から乾杯のご発声を頂きました。大変濃密な充実した4年間の大学院生活を振り返りながら、改めてご指導頂いた先生方との懇親を深めました。恩師との記念撮影や思い出話に大いに盛り上がり、名残惜しい時間が過ぎていきました。そして最後に、大学院学生会の鈴木 瑛一会長の挨拶をもって閉会となりました。

大学院を修了した私達は、本学助教やレジデント、ポストドクトラルフェローに新規採用となる者、他大学や開業医に勤務する者など、それぞれの道を歩みますが、最高の歯科大学である東京歯科大学大学院を修了した事を誇りに思い、

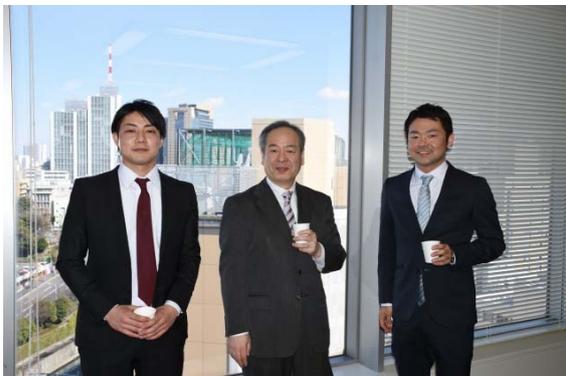
得られた知識と専門分野での研究成果をこれからの歯科界に反映させる事を心に誓いました。



井出学長のご挨拶



司会を務める岩井千弥 大学院学生会副会長



学位論文題名 (平成 27 年度)

	学位記番号	氏名	学位論文題名
1	2116 号 (甲 1326 号)	阿 部 裕 之	The effects of EGF during wound healing of rat submandibular glands
2	2122 号 (甲 1327 号)	鈴 木 瑛 一	Akt activation is required for TGF- β 1-induced osteoblast differentiation of MC3T3-E1 pre-osteoblasts
3	2123 号 (甲 1328 号)	武 内 崇 博	Enhanced healing of surgical periodontal defects in rats following application of a self-assembling peptide nanofiber hydrogel
4	2124 号 (甲 1329 号)	西 山 明 宏	Intercellular signal communication among odontoblasts and trigeminal ganglion neurons via glutamate
5	2125 号 (甲 1330 号)	岩 井 千 弥	Idiosyncratic characteristics of human salivary extracellular vesicles revealed from density gradient ultracentrifugation fractionation.
6	2126 号 (甲 1331 号)	笠 原 正 彰	Biological apatite crystallite alignment analysis of human maxillary molar region cortical bone with microbeam X-ray diffraction
7	2127 号 (甲 1332 号)	梅 澤 貴 志	Proliferative activity of skeletal myoblast sheet by paracrine effects of mesenchymal stem cells
8	2128 号 (甲 1333 号)	戸木田 怜 子	Differentiation behavior of iPS cells cultured on PLGA with osteoinduction medium
9	2129 号 (甲 1334 号)	大 峰 悠 矢	Regional differences in the density of Langerhans cells, CD8-positive T lymphocytes and CD68-positive macrophages: a preliminary study using elderly donated cadavers
10	2130 号 (甲 1335 号)	小 畑 朋 邦	Inhibition of Denture Plaque by TiO ₂ -Coating on Denture Base Resins in the Mouth
11	2131 号 (甲 1336 号)	田 嶋 さやか	Long lasting effects of tongue cleaning with mouthwash or mouth moisturizing gel on the number of microbes on the tongue surface of elderly with care needs
12	2132 号 (甲 1337 号)	高 橋 由香里	Effects of fluvastatin on bone marrow stromal cells of senescence-accelerated mouse prone 6
13	2133 号 (甲 1338 号)	坂 本 圭	Influence of eccentric cyclic loading on implant components- Comparison between external joint system and internal joint system-
14	2134 号 (甲 1339 号)	太 田 功 貴	Role of an extracytoplasmic function sigma factor, PGN_0319, in hemin utilization by <i>Porphyromonas gingivalis</i>
15	2135 号 (甲 1340 号)	島 秀 輔	Three-dimensional evaluation of microdamage in the cortical bone after insertion of an orthodontic anchor screw

	学位記番号	氏名	学位論文題名
16	2136号 (甲1341号)	鈴木 薫	Influence of grade and surface topography of commercially pure titanium on cyclic fatigue property
17	2137号 (甲1342号)	萩尾 美樹	Factors affecting improvement of oral health-related quality of life by maxillofacial prosthetic treatment after surgery for oral cancer patients
18	2138号 (甲1343号)	二宮 文	Inhalation of fifty percent oxygen does not impair respiratory depression during midazolam sedation.
19	2139号 (甲1344号)	澤口 夏林	Comparison of the effect of electrical stimulations on the chin skin on autonomic nervous activities during propofol sedation with or without midazolam
20	2140号 (甲1345号)	半沢 篤	A comparative study of oral analgesics for postoperative pain after minor oral surgery
21	2141号 (甲1346号)	三井 智治	Alignment of Biological Apatite Crystallites in Premolar and Molar Region in Cortical Bone of Human Dentate Mandible
22	2142号 (甲1347号)	神田 雄平	Dynamic cultivation with radial flow bioreactor enhances proliferation or differentiation of rat bone marrow cells in fibroblast growth factor containing medium or osteogenic differentiation medium
23	2143号 (甲1348号)	長谷川 大悟	Generation and Analysis of Gorlin Syndrome iPS cells demonstrate strong activation of Hedgehog, WNT and BMP pathways in Osteogenesis
24	2144号 (甲1349号)	藤関 元也	TRP expression in early developmental stage of rat submandibular gland demonstrated by real-time polymerase chain reaction and immunohistochemistry
25	2145号 (甲1350号)	重野 健一郎	Evaluation for bone marrow abnormalities of the mandibular condyle in patients with osteoarthritis using magnetic resonance T2 mapping
26	2146号 (甲1351号)	藤瀬 和隆	Characterization of extracytoplasmic function sigma factors of <i>Porphyromonas gingivalis</i>
27	2147号 (甲1352号)	喜田 晃一	Release properties of atelocollagen-gelatin complexes as carriers for local administration of fluvastatin
28	2148号 (甲1353号)	井上 健児	Identification of a novel regulator involved in the differentiation of mouse iPS cells into odontoblast-like cells
29	2149号 (甲1354号)	田代 宗嗣	Associations of Swallowing Function with Cervical, Thoracic and Lumbar spines, and Shoulder Girdle Range of Motion of the Dependent Elderly
30	2150号 (甲1355号)	飯島 由貴	Effect of nicotine on periodontal ligament derived cells cultured under mechanical stress

	学位記番号	氏名	学位論文題名
31	2151号 (甲1356号)	高田 満	Histomorphometric observations of surgical methods partial amputation injury of the inferior alveolar nerve using PGA
32	2152号 (甲1357号)	紺野 倫代	Effect of gum chewing on PFC activity during discomfort sound stimulation
33	2153号 (甲1358号)	大島 光慶	Metabolomic analysis of the saliva of Japanese oral squamous cell carcinoma patients
34	2154号 (甲1359号)	芹川 雅光	The cricothyroid joint in elderly Japanese individuals
35	2155号 (甲1360号)	原田 麗乃	Influence of sulfide concentration on the corrosion behavior of titanium in a simulated oral environment

編集後記

大学院だより 15 号は修了式を特集いたしました。今回の修了生たちは在籍中、水道橋への移転を経験しております。研究環境の大きな変化があったにもかかわらず、素晴らしい成果を出していただきました。努力を積み重ねてきたことは、これからの人生においても心の支えになることでしょう。願わくば、今後も研究を継続し、本学の研究をどんどん牽引して行ってほしいと思います。

(齋藤 記)

